

自然特徴点からマーカを自動生成する 拡張現実システムの開発



クリエイター： 矢口 裕明

拡張現実やるのに白黒なんかいらない。

モノクロマーカ不要。

必要なものはPCとUSBカメラのみ。

画像処理技術によって画像そのものをマーカに。

現実世界からマーカを作り出す。

長方形状の画像をオンラインで自動抽出。

マーカとして物体の画像を記憶・蓄積し、

高速にマッチングを行うことが可能。

現実のモノがタグとなる。

商品パッケージ、本の表紙、看板など。

現実の物体と関連付けて情報を記憶する。

複数の画像にも高速でカメラ映像との照合が可能。

開発成果ソフトウェア mARici-ten

オープンソースソフトウェアとして公開中

<http://www.jsk.t.u-tokyo.ac.jp/~h-yaguchi/mariciten/>

